

<p>人権・同和教育推進事業 (人権同和教育課)</p>	<p>(あ) 人権・同和教育地域推進ネットワーク事業連絡協議会 地域別に、行政、学校、関係機関・団体、企業等の人権・同和教育推進組織が連携を図り、地域ぐるみで取り組む教育・啓発活動のあり方について協議を行い、地域における総合的な推進体制の確立を図ります。</p> <p>(い) 人権・同和教育問題を考える県民のつどい 人権・同和教育地域推進ネットワーク事業等の成果を踏まえて、実践活動の発表、講演、一人芝居、教育・啓発展等を行い、全県民の意識を高めます。</p> <p>(う) 人権・同和教育研究促進事業 県と市町村、同和教育推進組織が連携して、全県的な活動の一層の促進に努めます。</p>	<p>1,828</p>
<p>社会人権・同和教育市町村訪問 (人権啓発推進センター)</p>	<p>(あ) 社会人権・同和教育市町村訪問 社会人権・同和教育及び人権啓発の推進に向けて、市町村と県が連携して諸課題とその解決の在り方について協議します。</p>	<p>-</p>

## 5 地域への愛着と誇りを育む教育の推進

### (1) 学校・家庭・地域の連携協力による教育力の充実

学校・家庭・地域を取り巻く諸問題を解決するためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を十分自覚するとともに、互いに信頼しあえる関係を築きながら、社会総がかりで教育力を充実していく必要があります。

学校と地域との連携協力関係を構築していくために、地域をあげて学校を支援する気運を醸成する取組を進める一方、地域そのものが地域の課題を掘り下げ、解決していく「地域力」を高めていくことができるように、地域に根ざした住民自治活動の振興やその中核となる公民館の機能強化を支援していきます。

また、学校においても、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、美しいものや神秘的なものに感動する心豊かでたくましい子どもを育むため、地域の「ひと・もの・こと」を活用したふるさと教育を県内すべての公立小中学校で、学校と地域の連携協力により実施します。

さらに、家庭教育支援として、放課後や休日に年齢の異なる子どもが群れて遊んだり、体験・交流ができたりする場を確保するため、地域が総がかりとなって子どもの居場所づくりをしていく取組を進めます。

#### (ア) ふるさと教育の推進

##### ① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
<p>ふるさと教育推進事業 (社会教育課)</p>	<p>ふるさとに愛着と誇りを持つ心豊かな子どもを育むため、「学社連携・融合」(＝地域の大人たちが学校教育を支援)の理念に基づく「ふるさと教育」を推進します。</p> <p>【神話のふるさと「島根」推進事業】 伝統芸能「神楽」を受け継いでいる子どもたちが交流し、共演大会や歴史・文化を学び体験する「島根県子ども神楽交流事業」を実施します。</p>	<p>31,294</p>

我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業 (義務教育課)	県内で1校をモデル校に指定し、地域の伝統文化を取り上げ、地域の人々との様々な体験活動を行い、その成果を他地域へ普及することで、地域の伝統に誇りをもち、我が国の伝統文化を尊重する子どもを育成します。	396 (P22の再掲)
---------------------------------------	--	-----------------

(イ) 学校と地域の連携協力体制の構築

① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
学校支援地域本部事業 (社会教育課)	原則として中学校区を基本的な単位として学校支援地域本部を設置し、学習支援、環境整備、登下校の見守りなどのボランティア活動を中心とする学校支援活動を実施します。	42,722

(ウ) 放課後の子どもの居場所づくりの推進

① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
放課後子どもプラン事業 (社会教育課)	放課後や休日に、公民館や学校の余裕教室等を活用し、年齢の異なる子どもたちが群れて遊んだり体験・交流したりする場を提供します。	78,486

(エ) 公民館活動の充実による「地域力」醸成

① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
公民館ふるまい向上プロジェクト (社会教育課)	公民館を中心に、地域の特性に合わせた研修会や活動を推進するため、実施する公民館(20~30程度)に助成金を交付します。(島根県公民館連絡協議会へ委託)	2,000 (P14の再掲)
実証!「地域力」醸成プログラム (社会教育課)	公民館が培ってきた「地域力」醸成のノウハウを、モデル公民館を選定して実証し、「地域力」の重要性について世論喚起します。(予算額:中山間地域実践枠、子育て支援枠を含む)	14,200

(オ) 社会教育主事の専門性を生かした「学社連携・融合」の推進

① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
社会教育主事派遣制度 (社会教育課)	学校・家庭・地域の連携協力関係を各市町村で具体的に組み上げていくための人的基盤づくりを推進します。 社会教育主事派遣人数22名(6市8町1村)	—
地域教育力市町村支援事業 (社会教育課)	派遣社会教育主事や市町村の社会教育担当者等を対象とした社会教育に関する専門的な内容の研修会を開催します。	1,007

家庭教育支援体制整備事業 (社会教育課)	地域の教育力向上や家庭・学校・地域の連携強化、教育環境の改善等を図るため、幼稚園、小学校、高等学校、特別支援学校が連携したPTA連絡協議会や研修会を開催します。	220
-------------------------	--	-----

## ※ 学校安全の推進

児童生徒が、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するとともに、関係機関や地域と連携して子どもたちの安全な環境づくりを進めます。

そのために、子ども見守り隊など地域ぐるみで学校の安全を守ろうとする体制の整備を進め、防災・防犯教室の研修会を通して、防災・防犯に対する学校や地域の意識の啓発を行います。そして、情報モラル教育の一層の徹底を図るため、教員対象の研修を推進します。

また、県立学校での損害賠償に備えての災害給付制度に加入し、安心して教育活動が行える環境を整えます。

### ① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
学校安全確保推進事業 (生徒指導推進室)	子どもたちの安全を確保するための組織活動を整備したり、学校防災・防犯などの研修を行ったり、県立学校での災害賠償に備えて共済給付制度に加入するなど、学校安全に係る各種事業を行います。	79,713

### ② 指導の重点

#### (あ) 交通安全教育

歩行の仕方や自転車の乗り方等の指導を通して、日常生活における望ましい交通安全意識と交通マナーの向上に努めます。また、学年に応じた交通安全に関する危険予測学習を実施します。更に、関係機関及び団体との密接な連携を図り、組織的な交通安全指導を推進し事故防止に努めます。

#### (い) 防災教育

火災や地震、豪雨等の自然災害の発生を想定し、地域や関係機関等と連携しながら、防災への日常の備えや適切な対応がとれるように、指導を行います。

#### (う) 防犯教育

地域や関係機関等と連携しながら、学校防犯体制の整備を進め、児童生徒の危険予測・回避能力を身につけるための安全教育の推進を図ります。

#### (え) 児童生徒の安全確保と学校の安全管理

学校内外における様々な学校危機に対応するために、「学校危機管理の手引」を改訂し、各学校の実態に応じた「危機管理マニュアル」の充実を図ります。また、シミュレーション訓練を通してマニュアルを改善するなど、児童生徒の安全確保と学校の安全管理の徹底を図ります。

## (2) 社会教育の振興による生涯学習社会の実現

県民の学習ニーズに応え、地域社会への主体的な参画を支援するためには、社会教育施設の職員や社会教育関係者の専門的力量を高めていく必要があります。

このため、社会教育研修センターにおける指導者養成機能を強化し、市町村社会教育関係者や公

民館職員、家庭教育支援関係者などを対象に、しまね学習支援プログラムの活用など即戦力かつ専門的スキルを高めるための研修を実施します。

(ア) 社会教育研修センターにおける指導者養成機能の強化

① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
社会教育研修センター事業 (社会教育課)	<p>社会教育の実践者(公民館職員、NPO関係者等)が求める専門的知見(学びや気づきを促すスキル・ノウハウ・マインドなど)を提供する人材養成研修を行います。</p> <p>(あ) 基礎研修 社会教育に関する基礎知識・技術や本県の社会教育の現状について理解を深めます。</p> <p>(い) 専門研修 実践活動に対応した専門的な知識や指導技術を習得します。</p> <p>(う) 課題別研修 社会教育・学校教育の現場で抱える課題の解決に向けた具体的方策を学びます。</p> <p>(え) 社会教育主事資格取得講習 文部科学省からの委託を受け、社会教育主事資格の付与を目的とした講習を行います。</p> <p>(お) 情報提供 ・情報誌「しまねの社会教育だより」の発行 ・学習相談に応じ、学習情報の提供 ・教材の貸出・閲覧 ・放送大学学生、視聴体験希望者に放送大学の授業テープの室内視聴、貸出(西部)</p>	13,740
しまね学習支援プログラムの普及・検証・開発 (社会教育課)	<p>地域における家庭教育支援の気運を醸成することを通じて「ふるまい向上プロジェクト」を県民運動として強力に推進するために、「しまね学習支援プログラム(通称:親学プログラム)」を活用して多くの県民に学習機会を提供します。</p> <p>(ア) 公民館、保育所、幼稚園、小学校等の職員や教員への研修活動</p> <p>(イ) 保護者への意識啓発・研修活動</p> <p>(ウ) 親学ファシリテーターの養成</p> <p>(エ) 親学ファシリテーターの派遣</p> <p>(オ) 親学ファシリテーターフォローアップ研修</p> <p>(カ) 親学プログラム完成版の印刷・配布</p>	1,800 (P14の再掲)

(イ) 社会教育施設・青少年教育施設における学習支援機能の充実

① 主な事務事業

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
青少年の家事業 (社会教育課)	<p>小中学生を中心とした青少年の心身の健全な育成を図るとともに、県民の教養及び文化の向上に資するため、学習及び交流の機会としての「自然体験」や「共同生活」、「宿泊研修」などの</p>	88,685

	<p>場を提供します。</p> <p>(あ) 研修支援事業  様々な体験プログラムによる研修指導、艇指導、宿泊指導を実施します。</p> <p>(い) 主催事業</p> <p>(ア) サン・レイク フェスティバル  施設・設備を開放し、施設利用者の研修成果を発表する場や体験活動の場を提供します。</p> <p>(イ) にこにこファミリー  親子の共同・交流体験等を通じて家族の交流活動を奨励するとともに、親学プログラムを実施し、家庭教育力向上に努めます。(年3回開催)</p> <p>(ウ) 青少年活動支援者養成講座  青少年活動をはじめとする地域活動やボランティア活動に必要な理論や技術を体験的に学べる機会を提供し、活動する上で必要なスキルの向上を図り、併せて社会貢献への意欲を高めます。</p> <p>(エ) キッズチャレンジ  小学生が個人で参加できる長期宿泊体験の機会を提供し、集団宿泊体験を通じて豊かな心や自主性、協調性を育みます。</p> <p>(オ) 集まれ元気ッズ  個人で参加できる宿泊体験の機会の中で、共同生活や体験活動を通じて、自主性や協調性を育みます。(年2回程度開催)</p> <p>(カ) セカンドスクール(長期宿泊体験活動)  小学校とともに長期の宿泊体験活動に教科学習を効果的に加え、生活習慣や豊かな心の育成を目指す事業をモデル的に実施します。(11月)</p> <p>(キ) プログラム開発や課題への対応  海のプログラムの充実や周辺の森等を活用した幼児向けプログラムを開発します。</p> <p>(ク) 青少年の家指定管理事業  青少年の家の施設設備の維持管理業務を指定管理者が代行します。</p>	
<p>少年自然の家事業  (社会教育課)</p>	<p>小学生を中心とした子どもたちに、江津市の浅利富士の林間の自然を活用した多面的な体験活動プログラムや交流の機会、宿泊研修の場を提供することにより、心身の健全な育成を図ります。</p> <p>(あ) 受け入れ事業  冒険の森(フィールドアスレチック)活動、創作活動等の自主的な研修の支援体制を充実するとともに、参加者が様々な体験ができるよう施設やプログラムを提供します。</p> <p>(い) 主催事業  青少年の健全育成と県民の教養・文化の向上に資するため、親子交流体験活動や自然体験活動などの機会を提供します。</p>	<p>64,455</p>

	<p>(ア)利用者団体指導者研修会      集団宿泊生活の教育的意義と集団生活の効果的で安全な実施方法について研修会を開催します。(前後期の2回開催)</p> <p>(イ)オープンデー      施設を県民に開放して、野外活動や創作活動を家族で体験し交流を深めます。(春・秋の2回開催)</p> <p>(ウ)チャレンジ・ザ・サマー      家族が大自然の中で行動を共にし、共通の体験を通してより良い関係を築くとともに、絆や交流を深めます。(年2回開催)</p> <p>(エ)ジュニア・サマー・キャンプ、子ども探検隊 in 自然の家、ジュニア・ウインターキャンプ      小学校の中・高学年児童が、自然との関わりを通して様々な体験活動や宿泊生活を行い、人間関係能力を育むとともに自然への興味・関心を高め、集団生活における規律を学びます。      また、大学生ボランティアと参加者との交流を図ります。      (各1回)</p> <p>(オ)わくわく森もりランド in 江津      年長幼児とその保護者を対象に、自然体験や創作活動を通して親子の絆を深めます。</p> <p>(カ)森と海のつどい      アクアスでの宿泊体験を通して、魚の生態観察や自然の家での体験活動を通し、家族相互の交流を図ります。      (年2回開催)</p> <p>(キ)自然体験活動指導者研修      子どもたちと関わる教員・指導者を対象に、体験を通して野外で活動する際に必要な知識・技術を学ぶ機会を提供します。</p> <p>(ク) 広報・啓発事業      施設利用や主催事業参加の促進を図るため、広報・啓発活動を実施します。</p>	
<p>県立図書館事業      (社会教育課)</p>	<p>県民の高度化・多様化する学習ニーズに応え、県・市町村を通じた総合的な図書館サービスを充実するため、市町村立図書館、学校図書館に対する支援を強化します。また、子ども読書活動の推進や関係機関のネットワーク化、郷土資料をはじめとする図書資料整備とレファレンスの強化を図ります。      平成24年度開催の全国図書館大会開催に向け準備作業を進めます。</p> <p>(ア) 図書館活動推進事業      県民の学習要求に応えるため、資料提供やレファレンス等を通じて、いつでもどこでもだれでも学ぶことのできる環境を整備します。</p> <p>(イ) 全国図書館大会島根大会準備委員会      平成24年10月に開催する全国図書館大会準備委員会を設置します。</p> <p>(ウ) 市町村支援事業</p>	<p>115, 446</p>

	<p>県民にとって利便性の高い市町村立図書館や読書施設に対する支援を通じて、県内全域にわたる図書館サービスの充実を図ります。</p> <p>(え) 子ども読書支援事業  児童図書や子ども読書に関する研究資料等の収集・提供を行うとともに、関係団体との連携を密にしながら、児童向けサービスの充実、親子読書の推進、ボランティア活動等の促進を図ります。</p> <p>(お) 郷土資料整備収集事業  島根県に関する古文書、古絵図等の郷土資料を調査、収集し、保存性や利便性を高めるためのマイクロフィルム化、デジタル画像化を計画的に実施します。また、郷土の記事・論文データ作成を進め、インターネットも活用して広く情報提供を行います。</p>	
県立図書館機能強化事業（子ども読書活動推進事業） （社会教育課）	<p>県内すべての公立小中学校における学校図書館活用教育を実現するため、県立図書館の使命である学校図書館支援機能及び人材養成機能を強化します。</p> <p>(あ) 「学校図書館活用教育図書」整備事業  基本パッケージ（約 2,000 冊）を市町村立図書館（11 か所）に寄託して、近辺の小中学校で共同利用します。</p> <p>(い) 学校司書等の人材養成研修  学校図書館に配置される司書、ボランティア等の専門性を高めるための専門研修や子ども読書活動を幅広い県民運動として展開するための読書ボランティアを発掘・養成する基礎研修を実施します。</p>	62,284 (P21の再掲)
社会教育関係団体活性化事業 （社会教育課）	<p>(あ) 県連合婦人会研修事業助成金</p> <p>(い) 優良少年団体表彰</p>	219
生涯学習総合推進事業 （社会教育課）	<p>(あ) 島根県社会教育委員の会</p> <p>(い) 社会教育主事講習派遣事業</p>	2,690